

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会と」市民大学との共同企画

第8回

テーマ ハーモニカ演奏と講義

日 時 11月14日(月) 13:30~16:00

会 場 いきいき活動室

講 師 岡野正志氏(市民人材バンク登録者)

受講生数 15名



講 師 岡野正志氏

前半はハーモニカについて

1) ハーモニカの身元調査

- ・ハーモニカは1820年ころアメリカで誕生通称：テンホールズ
- ・日本への移入は明治の半ば頃

2) 楽器の説明 出せる音の範囲

- ・自由に半音が出せない (A) 穴が上下二段、穴が一段
- ・半音が自由に出せる (B) スライド式
(ピアノ仕様) 上下二段式

3) 演奏上の分担から見た各種ハーモニカ

- ・メロディ系：復音ハーモニカ、テンホールズ、クロマチックハーモニカ
- ・伴奏系：バスハーモニカ、コードハーモニカ、ソプラノハーモニカ、アルトハーモニカ。バリトンハーモニカ
- ・特殊ハーモニカ：民謡ハーモニカ、ミニハーモニカ

講師が上記のハーモニカの現物を持参してくださった。
いろいろの形、大きさに目を見張るものがありました。



後半はハーモニカを使って懐かしい昭和のメロディを講師が演奏して、参加者と合唱 楽しいひと時を過ごしました。



報告 三上聡雄